群　馬　県　立　沼　田　高　等　学　校（定時制課程）　　学　校　評　価　一　覧　表　②　　（平成３１年度（令和元年度）版）　　（様式２）

羅針盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
Ⅰ　特色ある学校づくりに努めていますか。	1　特色ある教育活動を行っていますか。	① 特色ある教育活動に積極的に取り組んでいる生徒が75%以上である。	A	A	A	９割を超える生徒が本校の教育活動に積極的に取り組んでいる。総合的な学習の時間では、手芸制作や知恵の輪研究、読書など８つのテーマを設定し、生徒各自が積極的に取り組む姿が見られる。また、部活動では、卓球・バドミントンの２部の生徒が全国大会出場を果たした。	生徒が活動に取り組める環境作りをしており、優れた成績も収めているものもある。特別活動と部活動の充実として具体的な方策はどんなことか、明らかにするとよい。本課程を卒業して、社会人としての成功者の講演などを通して、未来を見ることの力を育ててほしい。	行事等の特別活動と部活動を充実させ、生徒の諸活動の活性化を一層推進する。社会人や卒業生による講演会を企画し、定時制と社会の結び付きや進路意識や職業観の育成が重要であることを生徒に意識させる。
		② 自分の学校が好きだと感じている生徒が、80%以上である。	A	B	B	学級活動、生徒会活動、部活動、学校行事を中心に、生徒の自治能力と主体性を育てる工夫を継続的におこなったが、自分の学校が好きだと回答した生徒は７割台に留まった。	生徒の主体性を大切にする活動を今後もお願いしたい。積極的な入学生は好感を持てるが、そうでない生徒はすぐには（在学中は）好きと思えないと思う。卒業後、良かったと思えればよい。	学級活動、学校行事、部活動に積極的に取り組む生徒が自己有用感を感じることが多いため、今後も継続して生徒の主体性を大切にする教育活動を推進していく。
		③ 三修制を利用して、95%以上の生徒が３年間で卒業している。	A	B	B	三修制については、生徒・保護者ともに９割を超え、よく理解している。長欠者が出ないよう、保護者と連携したが、入院のための長欠者が出た。	三修制は今後も継続していただきたい。生徒の個別の事情を理解しつつ、家庭との連携を継続してほしい。アンケートの質問項目と学校評価の数値目標の対応関係を再検討してほしい。	三修制は本校の大きな特徴であり、引き続き生徒・保護者の理解の徹底を図る。また、学校に軸足を置いた生活習慣の確立を継続的に指導し、保護者とも協力しながら長欠者・退学者を出さない環境づくりに努める。
Ⅱ　生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2　生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 「授業がわかりやすい」と思う生徒が70%以上である。	A	A	A	８割を超える生徒、９割を超える保護者が、授業がわかりやすいと回答した。組織的な研修を通して、教職員一人一人が授業改善に向けた努力を日々継続し、指導に取り組んだ結果である。	次年度の方策が具体的であり、適切である。授業参観を通じ、授業では興味を引き出し、理解度を高めるため先生方が努力されていることに感嘆した。	知識や思考力の基礎基本の定着を最優先課題として授業改善に組織的に取り組む。また、授業外の個別指導や長期休暇中の補習を充実させ、生徒の個性や個別の状況に適した指導を進める。
	3　生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤ 成績不振者は全生徒の５%以下である。	B	B	B	生徒たちの学習態度は概ね良好だが、一学期３名、二学期８名の成績不振者が出てしまった。個別指導や補習の充実を図り、単位修得を目指している。	学習の成果は家庭など学校外生活も大きな影響を及ぼすため「いつもと違う」と感じた時には必ず声をかけてほしい。次年度の方策が具体的であり、適切である。卒業まで生徒一人ひとりの面倒を丁寧にみてほしい。	保護者との面談も実施しながら家庭での協力を仰ぎ、生徒には個別指導や補習を通して、生徒一人一人の実態に応じた丁寧な指導を継続する。
Ⅲ　生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4　組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑥ 生徒に関する情報交換を週１回以上実施している。	A	A	A	日々の打ち合わせを情報交換の重要な場として捉えている。また、職員会議や打ち合わせだけでなく、様々な場面で生徒の情報交換をする風土ができており、常に共通理解を持って生徒の指導に当たっている。	綿密な話し合いがされていると思う。一層の情報共有と実践をお願いしたい。	組織的な対応を前提として、情報交換による共通理解が日常的に行われる、風通しの良い職場環境をより一層整備していく。
		⑦ いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	B	A	B	一学期末に１件のいじめが確認されたが、解消に向けて組織的に対応した結果、現在は解消されている。	素早い対応により早期解決されたことに安心した。ハラスメントについても教育してもよいと思う。引き続き早期発見・早期対応をお願いしたい。ただし、いじめが解消したという認識が大きな誤りを生んでしまうおそれもあるので慎重に対応をしてほしい。	定期的ないじめアンケートのみならず、普段から教職員一人一人が生徒をよく観察し、組織として情報を共有することで、早期発見・早期対応に努め、引き続きいじめの未然防止に努める。
		⑧ 生徒会活動が充実していると評価する生徒が75%以上である。	A	A	A	生徒会活動には、約８割の生徒が積極的に取り組んでいると回答した。クラスマッチや校内発表会などの運営に生徒会が主体となって取り組んでいる。	学校行事に積極的に取り組むことで自信、達成感につながっていると思う。継続的な指導をお願いしたい。	クラスマッチ、食の教室、校内発表会等を中心に、生徒会役員と全校生徒による主体的な生徒会活動が行われるよう、継続的に指導していく。
	5　生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨ 欠席、遅刻者数は、定時制課程としては極めて低い状態。全生徒数の５%以下である。	B	B	B	遅刻率は５%未満を維持しているが、欠席率は５%を超えてしまった。入院等はやむを得ないが、今後も保護者との連絡・協力を密にして、極力、長欠者を出さないように指導していきたい。	母数が少ないと１人の割合は高くなる。今後も生徒の心身の健康管理を家庭と協働してほしい。継続的な指導をお願いしたい。保護者との連携をしっかりとってもらってありがたいと思う。	基本的生活習慣の確立に向けて遅刻・欠席・早退を減らす指導を、家庭の協力を得ながら継続していく。スクールカンセラー制度も必要に応じて積極的に活用し、外部機関との連携も重視する。
Ⅳ　生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6　自己の生き方を考え、主体的な進路選択ができるよう、計画的な指導を行っていますか。	⑩ 進路通信等を年６回以上発行する。	A	A	A	生徒が主体的に進路を考えるための機会として、進路通信「船出」の発行を充実させることができた。卒業生や地域で活躍している社会人の方を招いてキャリア講演会を実施し、職業観の育成に努めた。	社会人としてという観点はすばらしい。常に社会との結びつきを意識してほしい。進路選択は大きな課題である。進路の情報を随時、示していることで生徒の選択に役立っていると思う。継続的な指導をお願いしたい。	１学年から進路意識の向上・職業観の育成のための組織的・計画的な指導を実施する。進路通信を計画的に発行し、卒業生や社会人講師の活用など外部との連携も継続していく。
		⑪ 家庭での話し合いを促し、生徒の将来の志望について理解している保護者が65%以上である。	A	A	A	生徒の進路志望を理解している保護者は70%であり、生徒から見た保護者の理解度も70%であった。引き続き家庭での話し合いを促したい。	家庭において会話が少ないと理解度は低いと思われる。生徒、面談、メール等を通しての情報共有から促してもよい。継続的な指導をお願いしたい。	学校からの配布物が保護者に渡るように生徒を指導するとともに、面談等を通して進路に関する家庭内での話し合いを促す。生徒と保護者が同じ視線で進路を見つめることができるように指導を継続していく。
	7　生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑫ 好ましい職業観を育成するよう、在学中に就業体験をした生徒が80%以上である。	B	A	B	アルバイトなど、在学中に何らかの就業体験をしている生徒は約９割である。将来の進路について主体的に考えるためにも、就業体験を促していきたい。	目標は達成している。社会経験として引き続き促していく。就業体験とインターンシップとの差異は何かを明確にしてほしい。将来、何を目指すのか、そのためには現在、何が必要かが大切である。	勤労青年の学びの場としての定時制の理念に基づき、生徒の社会性や自己肯定感育成のためにも、引き続き就業体験を支援する。アルバイトだけでなく、インターンシップの活用も検討する。
Ⅴ　開かれた学校づくりに努めていますか。	8　家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑬ 学校便り等（５：３０新聞及び ５：３０新聞ミニを含む）を月２ 回程度発行する。	A	B	B	５：３０新聞は年２回、５：３０新聞ミニは毎月発行されている。ＨＰに掲載したり、関係者に配付していて、本校定時制の等身大の姿がわかりやすいと評価を得ている。	学校生活を知る大切な情報源。発行までの作業は大変と思うが継続してほしい。	今後も年２回の５：３０新聞、毎月の５：３０新聞ミニの発行を継続する。生徒、保護者、外部に向けて情報発信を積極的に行い、広報を継続する。
		⑭ ホームページの更新を毎月実施する。	A	A	A	発行と同時に５：３０新聞ミニをWeb上に毎回アップロードしている。５：３０新聞も過去発行分を含め、個人情報に配慮して表示方法を工夫している。	よく拝見している。わかりやすい内容でよいと思う。引き続きの対応をお願いしたい。	全日制と連携しながら、定時制のホームページを適宜更新し、より一層の情報発信に努める。また、必要に応じてＨＰのレイアウトなどを工夫し、より見やすい工夫をしていく。
		⑮ 保護者面談の他、公開授業を年２回以上行う。	A	A	A	保護者面談は１回、公開授業は２回実施した。公開授業における、保護者、利根沼田地区中学校教員の参観者27名。中学生や保護者、教育関係者の学校見学も随時実施した。	引き続きの対応をお願いしたい。貴重な公開授業であった。参観すると生徒の個性も多様性も理解できる。	保護者面談、公開授業、学校見学の随時受入を継続して行う。沼高定時制の広報に努め、中学校訪問も随時実施していく。